



平成20年1月期 決算説明会

平成20年3月21日

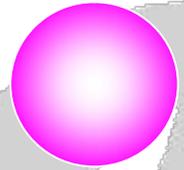
株式会社丸千代山岡家

JASDAQ（証券コード：3399）



目次

	平成20年1月期決算概要	P 3 ~ P 17
	平成21年1月期業績予想	P 18 ~ P 21
	具体的な取組みについて	P 22 ~ P 27
	参考資料	P 28 ~ P 38



平成20年1月期決算概要



平成20年 1 月期総括

当社を取り巻く環境

原油価格高騰の影響からガス単価引き続き上昇⇒水道光熱費は計画比16%増
小麦等原材料の上昇から原価を圧迫⇒原価率は計画比1.3%増

..... 恒常的なコスト増

取組み状況

営業：期間限定メニューの販売
店長・社員・パートアルバイト教育強化、QSC向上、人件費抑制
出店：新規出店8店舗による増収
居抜き物件の積極的採用
その他：新店へのIH機器導入、サービス券の廃止 など

..... 営業施策、コスト対策を下期取組み強化

結果

上期既存店売上高は低調に推移 前期比91.2%
下期既存店売上高は昨年並みに回復 前期比98.6%
⇒下期既存店売上の前期比 通期計画93.8%→95.1%で推移
売上高：6,444百万円（前期比8.1%増）
経常利益：92百万円（前期比59.1%減）



平成20年 1 月通期対前期比較

(単位：千円)

	平成19年1月期 通期実績		平成20年1月期 通期実績		対前期比較	
	金額	売上比率	金額	売上比率	金額	比率
売上高	5,959,462	100.0	6,444,178	100.0	484,716	108.1
売上原価	1,427,417	24.0	1,628,178	25.3	200,761	114.1
売上総利益	4,532,044	76.0	4,816,000	74.7	283,956	106.3
販管費	4,336,296	72.7	4,736,017	73.5	399,721	109.2
営業利益	195,748	3.3	79,982	1.2	△115,766	40.8
経常利益	174,968	2.9	92,168	1.4	△82,800	52.7
当期純利益	85,630	1.4	20,270	0.3	△65,360	23.7

売上原価は前期に対し売上比1.3%上昇(サービスセットや原材料高騰の影響)

販管費は前期に対し9.2%上昇(人件費率及びガス単価上昇)



平成20年 1 月期通期実績

(単位：千円)

	平成20年1月期					
	上期実績		下期実績		通期実績	
	金額	売上比率	金額	売上比率	金額	売上比率
売上高	3,073,272	100.0	3,370,906	100.0	6,444,178	100.0
売上原価	765,422	24.9	862,756	25.6	1,628,178	25.3
売上総利益	2,307,849	75.1	2,508,151	74.4	4,816,000	74.7
販管費	2,359,547	76.8	2,376,470	70.5	4,736,017	73.5
営業利益	△51,697	△1.7	131,679	3.9	79,982	1.2
経常利益	△39,895	△1.3	132,063	3.9	92,168	1.4
当期純利益	△51,286	△1.7	71,556	2.1	20,270	0.3

下期は販管費の削減等により好調に推移したが、上期の不振を取り返すには至らず

新規出店数は、上期に5店舗、下期に3店舗、通期計8店舗



平成20年 1 月期通期対計画比較

(単位：千円)

	平成20年1月期計画				平成20年1月期実績		対修正計画比較	
	当初		修正後		金額	売上比率	金額	比率
	金額	売上比率	金額	売上比率				
売上高	6,671,514	100.0	6,373,974	100.0	6,444,178	100.0	70,204	101.1
売上原価	1,612,284	24.2	1,583,838	24.9	1,628,178	25.3	44,340	102.8
売上総利益	5,059,230	75.8	4,790,135	75.1	4,816,000	74.7	25,865	100.5
販管費	4,856,178	72.8	4,757,455	74.6	4,736,017	73.5	△21,438	99.5
営業利益	203,052	3.0	32,681	0.5	79,982	1.2	47,301	244.7
経常利益	206,969	3.1	45,490	0.7	92,168	1.4	46,678	202.6
当期純利益	89,943	1.3	△18,000	△0.3	20,270	0.3	38,270	—

既存店売上高が下期から回復（修正計画比101.1%）

売上高減少と売上原価上昇が利益を圧迫



平成20年1月期通期コスト内訳

(単位：千円)

		平成19年1月 通期実績	売上高比	平成20年1月 通期実績	売上高比	対前期コスト 改善率
売上高		5,959,462	100.0	6,444,178	100.0	—
売上原価		1,427,417	24.0	1,628,178	25.3	1.3
売上総利益		4,532,044	76.0	4,816,000	74.7	△1.3
販売費及び 一般管理費	人件費	2,021,945	33.9	2,196,607	34.1	0.2
	法定福利費	182,395	3.1	194,956	3.0	△0.1
	水道光熱費	643,206	10.8	728,568	11.3	0.5
	賃借料	123,683	2.1	119,667	1.8	△0.3
	地代家賃	405,489	6.8	466,749	7.2	0.4
	減価償却費	228,649	3.8	265,622	4.1	0.3
	その他	730,929	12.3	763,848	11.8	△0.5
	計	4,336,296	72.7	4,736,017	73.5	0.8

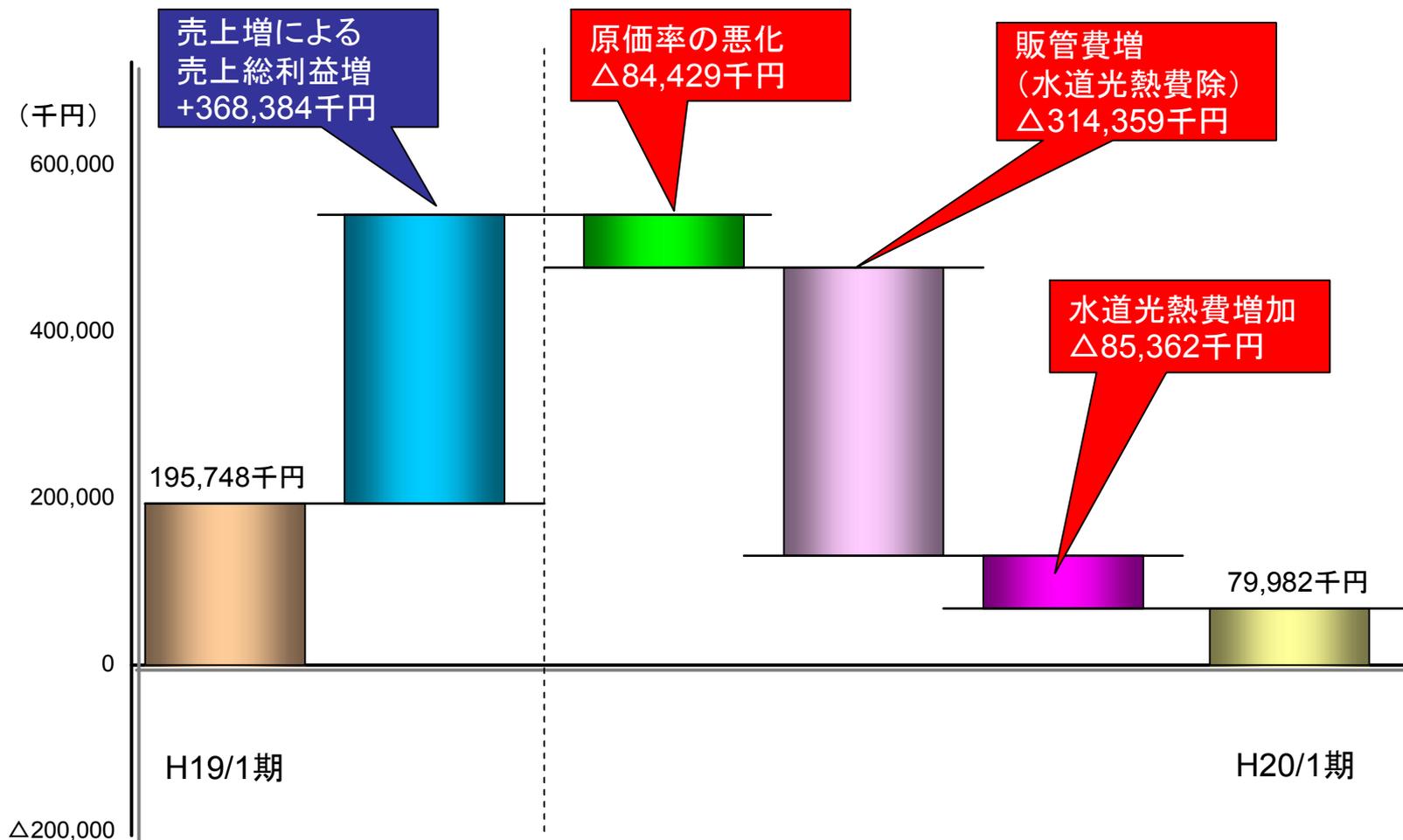
人件費が前年と比較し売上比率で0.2%上昇（20/1期下期は改善）

ガス代が単価ベースで前年同期比約55%上昇

地代家賃は主な出店が本州地区のため高止まり

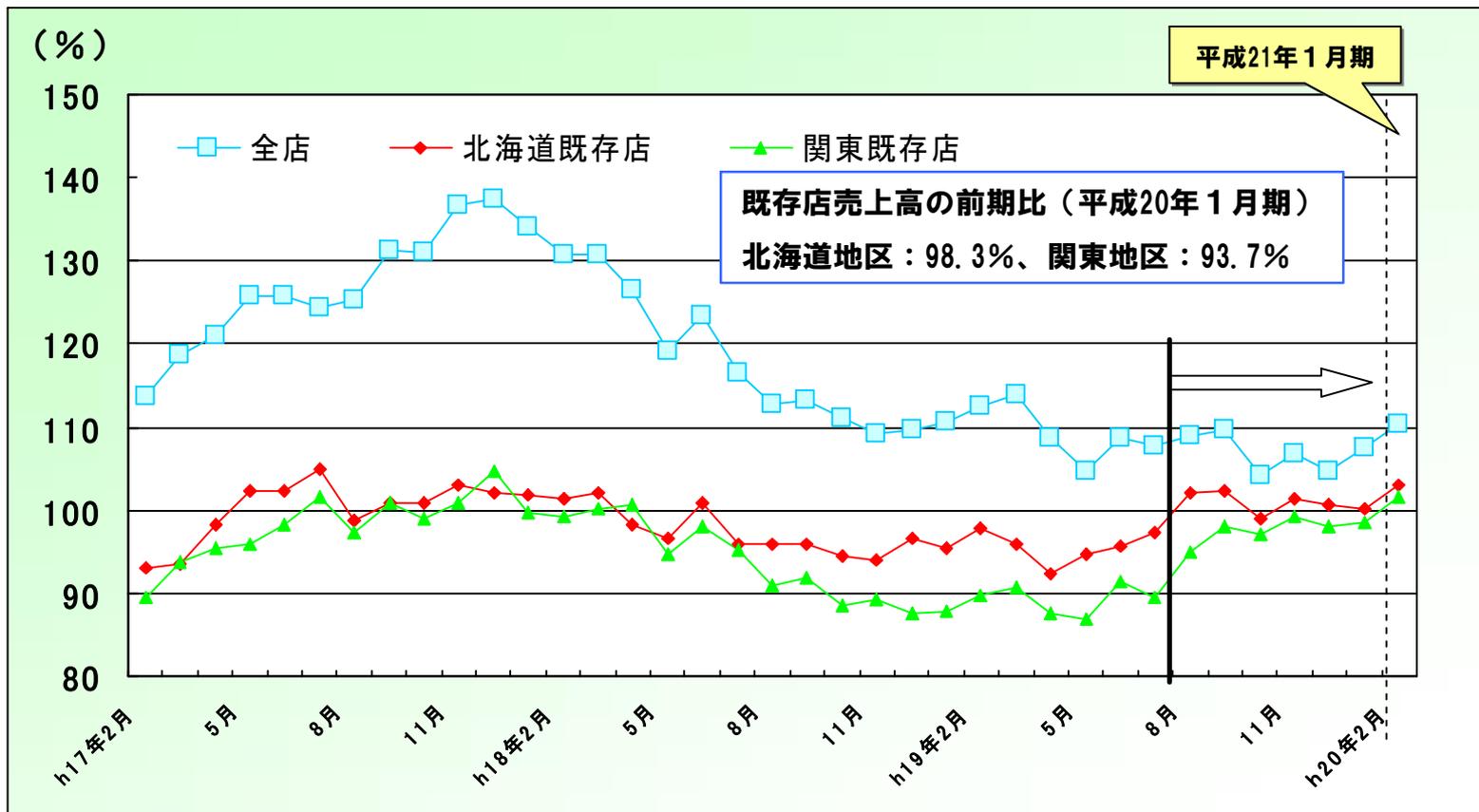


営業利益の要因分析（前期比較）





月次売上高推移（前年比）

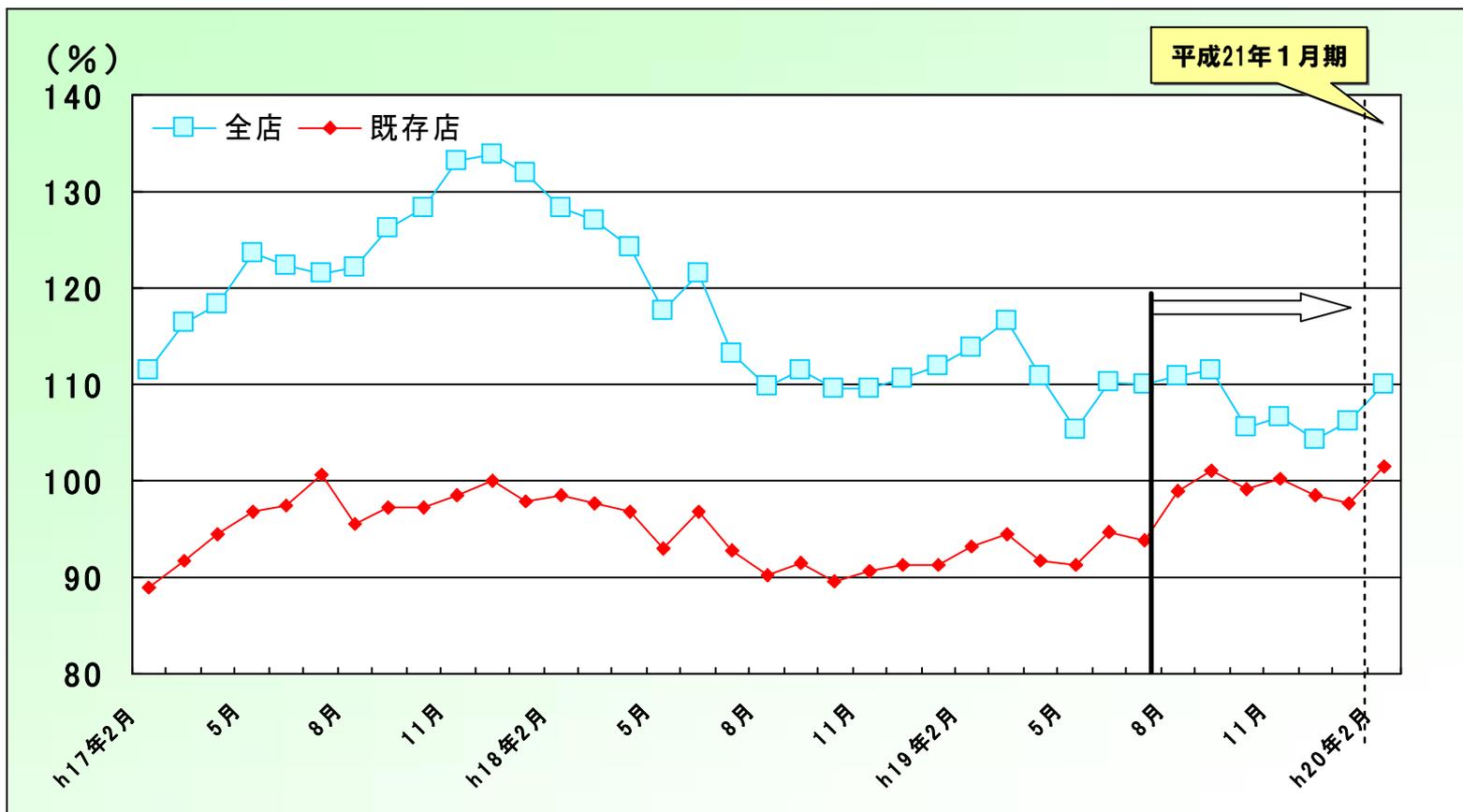


既存店売上高については平成19年8月以降、回復傾向

（注）既存店はオープン月から15ヶ月以上稼働の店舗としております。



月次客数推移（前年比）

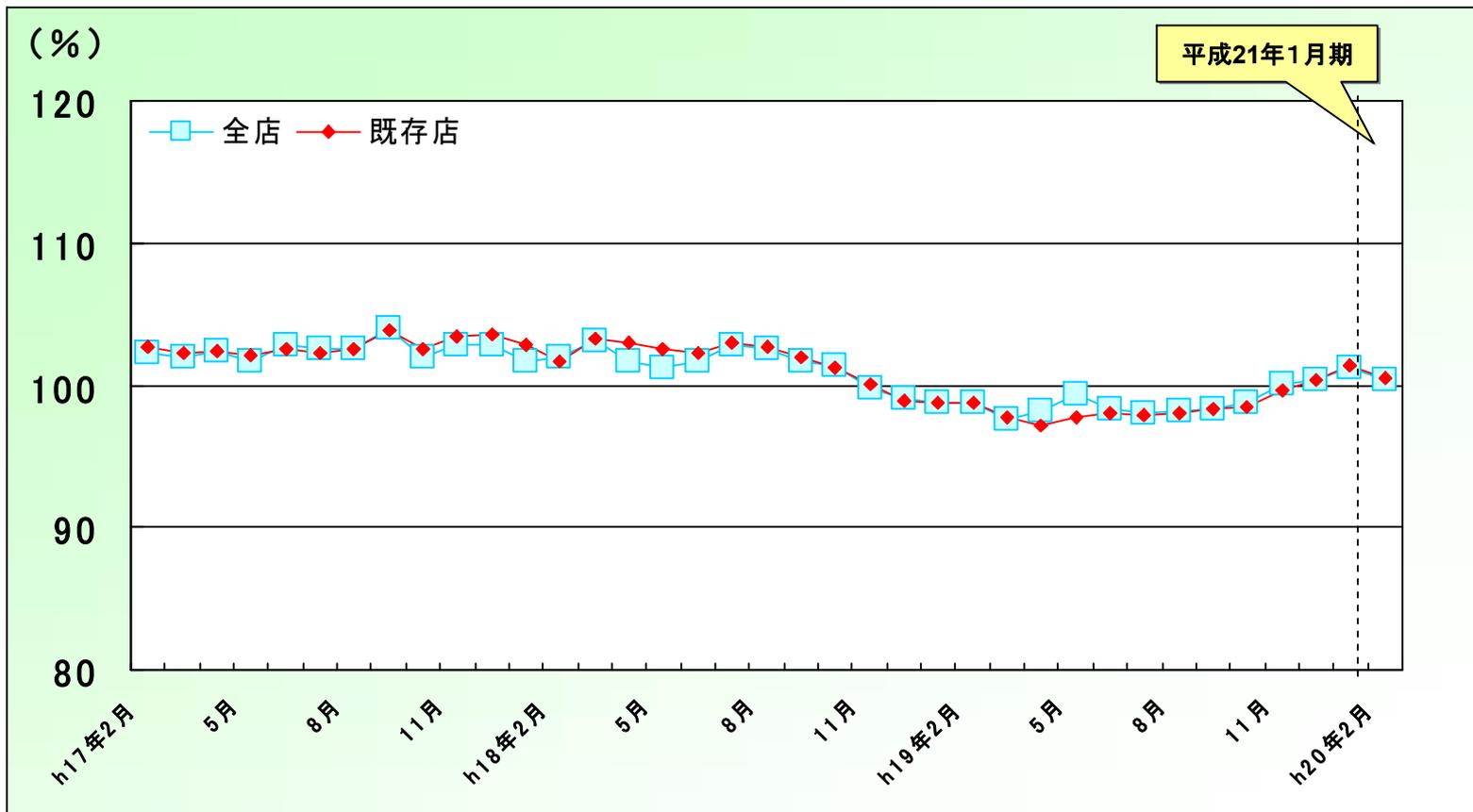


既存店客数についても平成19年8月以降、回復傾向

(注) 既存店はオープン月から15ヶ月以上稼働の店舗としております。



月次客単価推移（前年比）



ランチセット開始から一巡し、上昇傾向

(注) 既存店はオープン月から15ヶ月以上稼働の店舗としております。



キャッシュフロー要因分析

(単位：千円)

	平成19年1月	平成20年1月	増減額
営業活動によるCF	304,772	338,775	34,003
投資活動によるCF	△892,626	△226,107	666,519
財務活動によるCF	573,487	△58,256	△631,744
現金及び現金同等物	191,440	245,851	54,410

■ 営業活動によるキャッシュフロー

税引前当期純利益55,314千円に対し、減価償却費267,634千円、法人税等の支払59,235千円

■ 投資活動によるキャッシュフロー

新店舗開設による有形固定資産の支出236,382千円

■ 財務活動によるキャッシュフロー

長期借入返済600,000千円、新規の長期借入510,186千円



資産の推移

(単位：千円)

	平成19年1月期	平成20年1月期	構成比	増減率
流動資産	344,458	382,861	10.3	11.1
現金及び預金	191,440	245,851	6.6	28.4
棚卸資産	63,708	56,854	1.5	△10.7
固定資産	3,413,008	3,334,627	89.7	△2.3
有形固定資産	2,671,519	2,611,917	70.3	△2.2
建物及び構築物	2,151,165	2,253,275	60.6	4.7
無形固定資産	25,082	22,413	0.6	△10.6
投資その他の資産	716,406	700,296	18.8	△2.2
敷金保証金	469,734	472,063	12.7	0.5
資産合計	3,757,466	3,717,489	100.0	△1.1



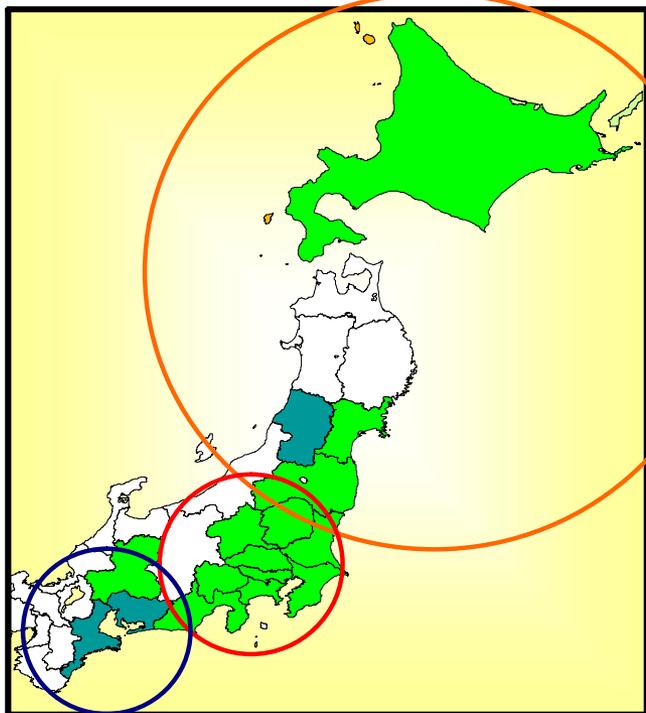
資本・負債の推移

(単位：千円)

	平成19年1月期	平成20年1月期	構成比	増減率
流動負債	1,062,024	1,103,983	29.7	3.9
買掛金	125,721	118,954	3.2	△5.4
短期借入金	26,000	—	—	—
1年以内返済長期借入金	441,814	555,726	14.9	25.8
固定負債	1,483,845	1,425,206	38.3	△3.9
社債	130,000	120,000	3.2	△7.7
長期借入金	1,300,126	1,276,028	34.3	△1.8
負債合計	2,545,869	2,529,189	68.0	△0.6
純資産	1,211,596	1,188,299	32.0	△1.9
資本金	291,647	291,647	7.9	—
負債・純資産合計	3,757,466	3,717,489	100.0	△1.1



エリア別出店状況



北海道・東北エリア

都道府県名	H19.1期末 店舗数	H20.1増減 (1月迄)	H20.1末 店舗数
北海道	27	1	28
宮城県	3	▲1	2
福島県	2	—	2
山形県	—	1	1

関東エリア

都道府県名	H19.1期末 店舗数	H20.1増減 (1月迄)	H20.1末 店舗数
茨城県	10	1	11
群馬県	6	—	6
栃木県	7	—	7
千葉県	7	—	7
埼玉県	7	1	8
東京都	1	—	1
神奈川県	1	1	2
山梨県	1	—	1

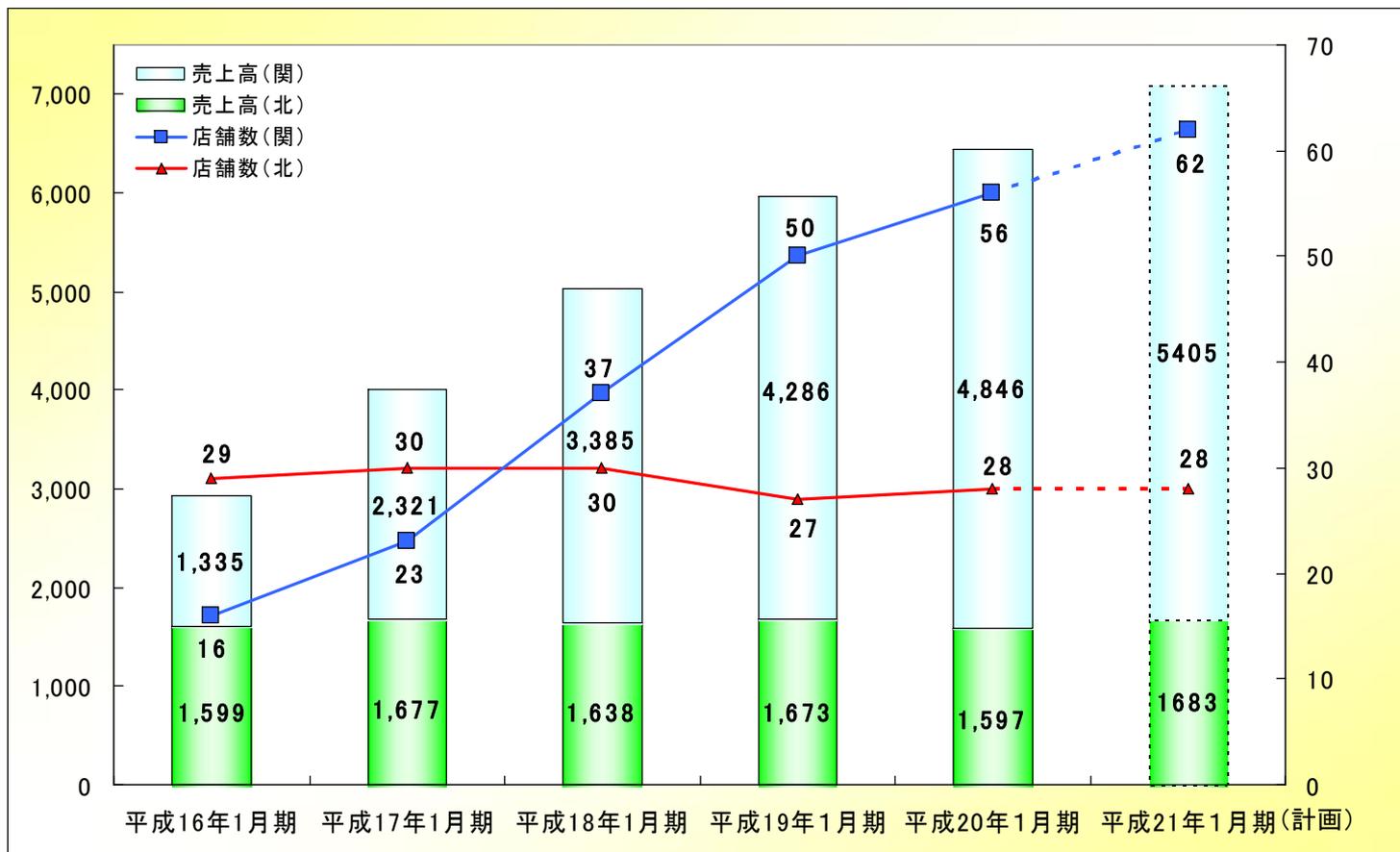
東海エリア

都道府県名	H19.1期末 店舗数	H20.1増減 (1月迄)	H20.1末 店舗数
静岡県	3	—	3
岐阜県	2	—	2
愛知県	—	2	2
三重県	—	1	1

北海道・東北	関東	東海	合計
33	43	8	84

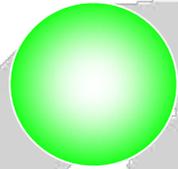


業績の推移（地域別売上高・店舗数）



※平成17年1月期迄は単体売上

新規出店抑制により平成20年1月期の売上の伸びは鈍化



平成21年1月期業績予想



平成21年1月期通期計画（対前期実績比較）

（単位：千円）

	平成20年1月期 通期実績		平成21年1月期 通期計画		対前期比較	
	金額	売上比率	金額	売上比率	金額	比率
売上高	6,444,178	100.0	7,089,052	100.0	644,874	110.0
売上原価	1,628,178	25.3	1,806,231	25.5	178,053	110.9
売上総利益	4,816,000	74.7	5,282,820	74.5	466,820	109.7
販管費	4,736,017	73.5	5,085,961	71.7	349,944	107.4
営業利益	79,982	1.2	196,859	2.8	116,877	246.1
経常利益	92,168	1.4	200,924	2.8	108,756	218.0
当期純利益	20,270	0.3	75,462	1.1	55,192	372.3

平成21年1月期 前提条件

新規出店 6店舗（上期：3店舗 下期：3店舗）全店関東・東海地区へ出店予定
 既存店売上 前年対比 100.6%
 原価率 サービス券廃止分と原材料値上分は相殺見込
 販管費率 水道光熱費は前期並を計上
 人件費は社員比率の見直し・パートの更なる戦力化により
 売上比3%程度の削減
 特別損失 店舗閉鎖関連費用50百万円（1店舗の閉店計画）

～通期計画根拠～

- ・利益ベースは下期偏重
 →上期出店店舗が下期でフル稼働
 →売上が大きくなる月が下期に多い
 （8・12・1月）
 →中間期予想 売上高：3,350百万円
 経常利益：38百万円



エリア別出店・閉店計画

	H20/1期末		平成21年1月期計画				
			通期出店計画		期末予定店舗数		
	店舗数	構成比	開店	閉店	店舗数	構成比	純増
北海道	28	33.3	0	0	28	31.1	0
東北	5	6.0	0	0	5	5.6	0
関東	43	51.2	5	0	48	53.3	5
東海	8	9.5	1	0	9	10.0	1
総計	84	100.0	6	0	90	100.0	6

H21年1月期⇒新規出店を抑え収益力改善に向けた施策実行を推進



株主還元策について

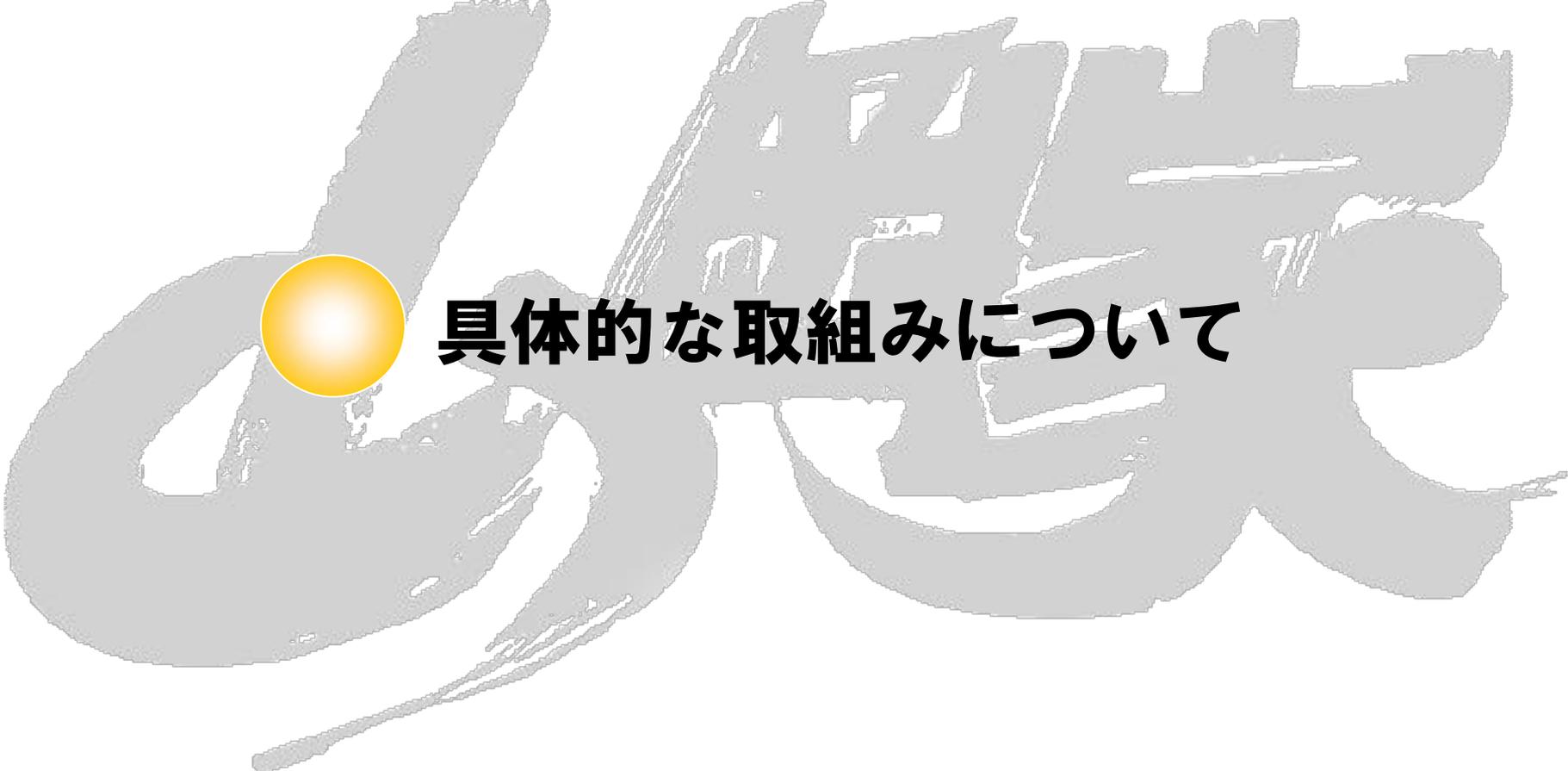
■ 配当方針について

平成20年1月期 1株当たり5,000円の配当を実施
平成21年1月期 1株当たり5,000円の配当を実施予定

	1株当たり年間配当金	配当性向
20/1期実績	5,000円	203.0%
21/1期計画	5,000円	54.7%

■ 株主優待制度について

株主優待制度につきましては、現段階では弊社店舗出店先が一部地域に限定されているため実施せず、平成21年1月期も配当により利益還元を行っていく方針であります。



具体的な取組みについて



中期経営計画について

(単位：百万円)

	18/1期	19/1期		20/1期			21/1期		
	実績	中期計画	実績	中期計画	期首計画	今回修正	通期実績	中期計画	期首計画
売上	5,100	6,124	5,959	7,160	6,671	6,442	6,444	8,410	7,089
経常利益	271	303	174	386	206	90	92	505	200
新規出店数	15	14	13	15	10	8	8	19	6
退店数	1	1	3	—	1	1	1	—	—
期末店舗数	67	80	77	95	86	84	84	114	90

(注) 中期計画は、平成18年6月13日付で策定・開示した計画を掲載しております。

中期経営計画未達 H21/1期中に過去データを分析しH22/1期から3カ年計画を策定予定



平成20年1月期下期営業活動での取組み①



既存店売上高の改善（対前期比較）

上期（2月～7月）		
売上	客数	単価
91.2%	93.1%	97.9%

下期（8月～翌1月）		
売上	客数	平均単価
98.6%	99.2%	99.4%



平成20年1月期下期営業活動での取組み②

期間限定メニュー



きまぐれつけ麺



ニラ玉スタミナ
ラーメン



海とんこつ



豚担担



販売状況

	きまぐれつけ麺	ニラ玉スタミナラーメン	海とんこつ	豚担担
販売期間	平成19年7月20日 ～8月31日	平成19年10月15日 ～11月30日	平成19年12月20日 ～平成20年1月31日	平成20年2月14日 ～3月31日(予定)
期間出数	30,862	39,853	82,319	—
売上比率	3.1%	3.9%	8.4%	—

※きまぐれつけ麺・ニラ玉スタミナラーメンは単品のみの数値、海とんこつは単品+セットメニュー(A・B・C)の合計数値となっております。



出店モデル構築に向けた取組み

取組み

居抜き物件の積極的採用

店内レイアウトの見直し

資材の標準化



効果

コストダウンと投資回収期間短縮

オペレーションの改善、営業効率UP

工期の短縮

出店コスト等比較（ロードサイド&居抜き）

ロードサイド型出店			居抜き出店		
出店コスト概算	投資回収目安	売上目標/月	出店コスト概算	投資回収目安	売上目標/月
6,000万円	5~6年	800万円	3,000万円	4年程度	600万円

新規店舗紹介（札幌市大谷地店 昨年12月OPEN）





コスト改善に向けた取組み

取組み

新規店舗へのIH機器導入

サービス券の廃止

パートアルバイト教育と社員比率の改善

家賃減額に向けた取組み

効果

1店舗当光熱費⇒売上比2%削減目安
投資予定額200万円、職場環境改善

原価率への影響⇒1%ダウン

人件費率⇒下期前期比1.6%改善

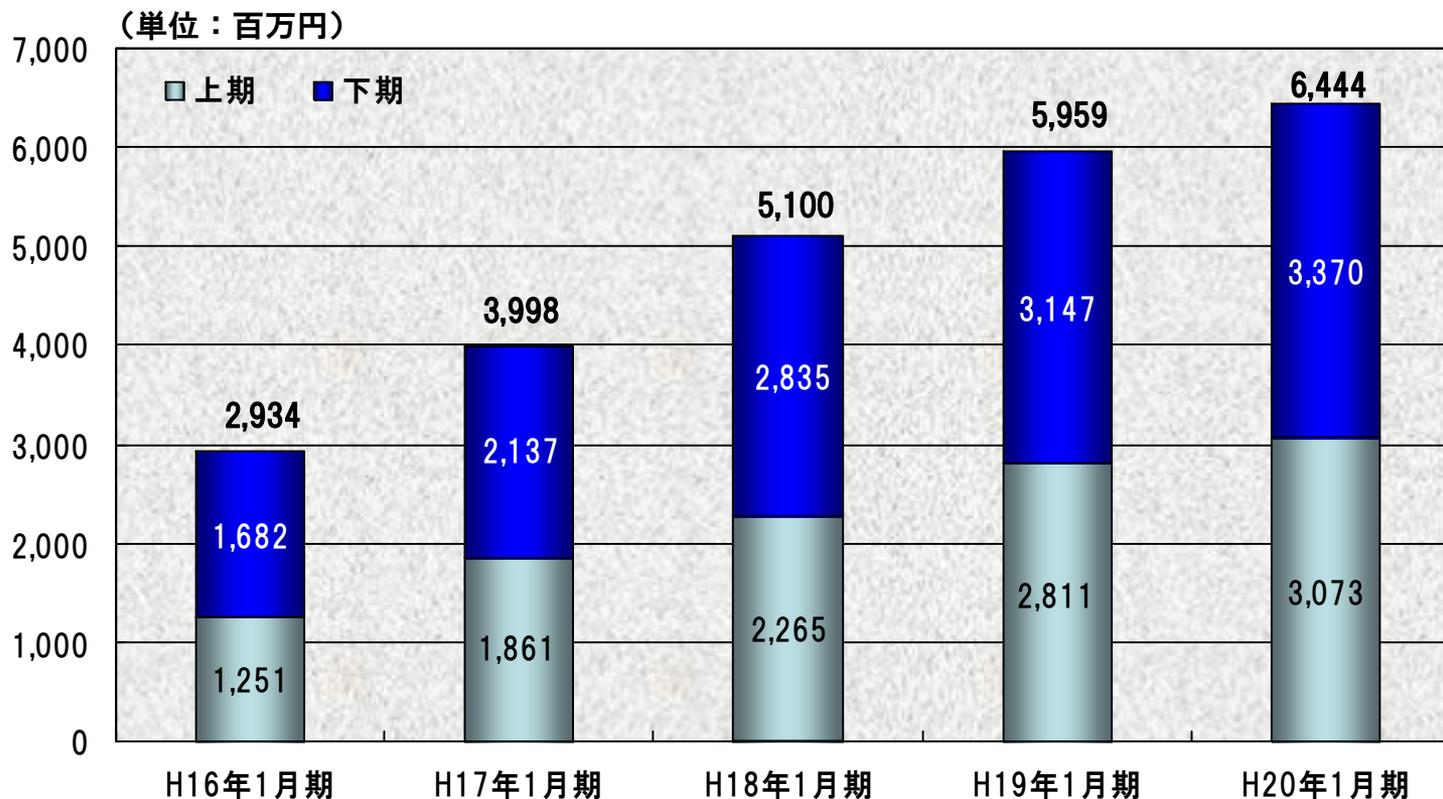
経過年数2~3年以上店舗対象
H21年1月期⇒月額100万減額目標





参考資料

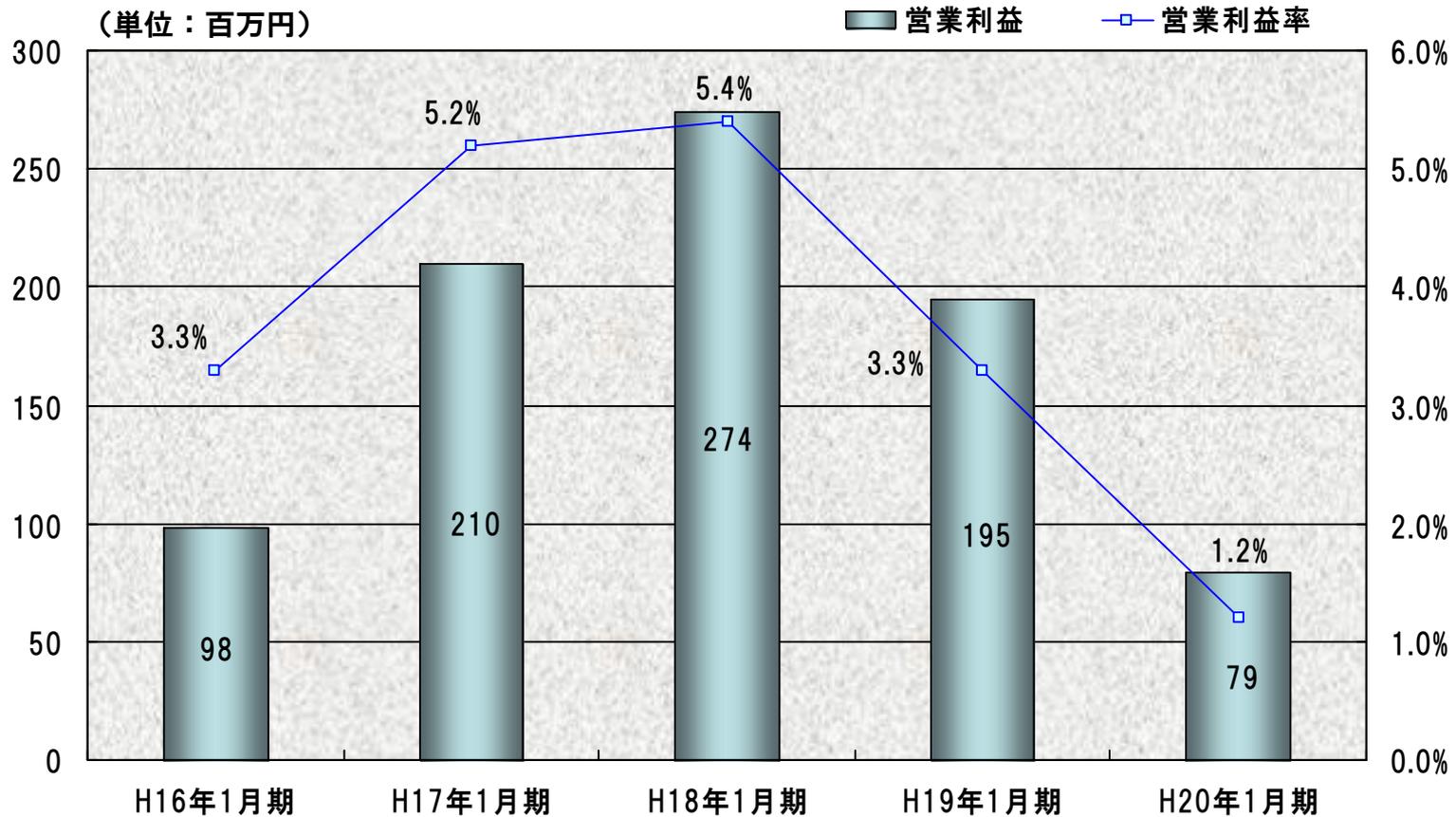
《売上高の推移（上期・下期）》





参考資料

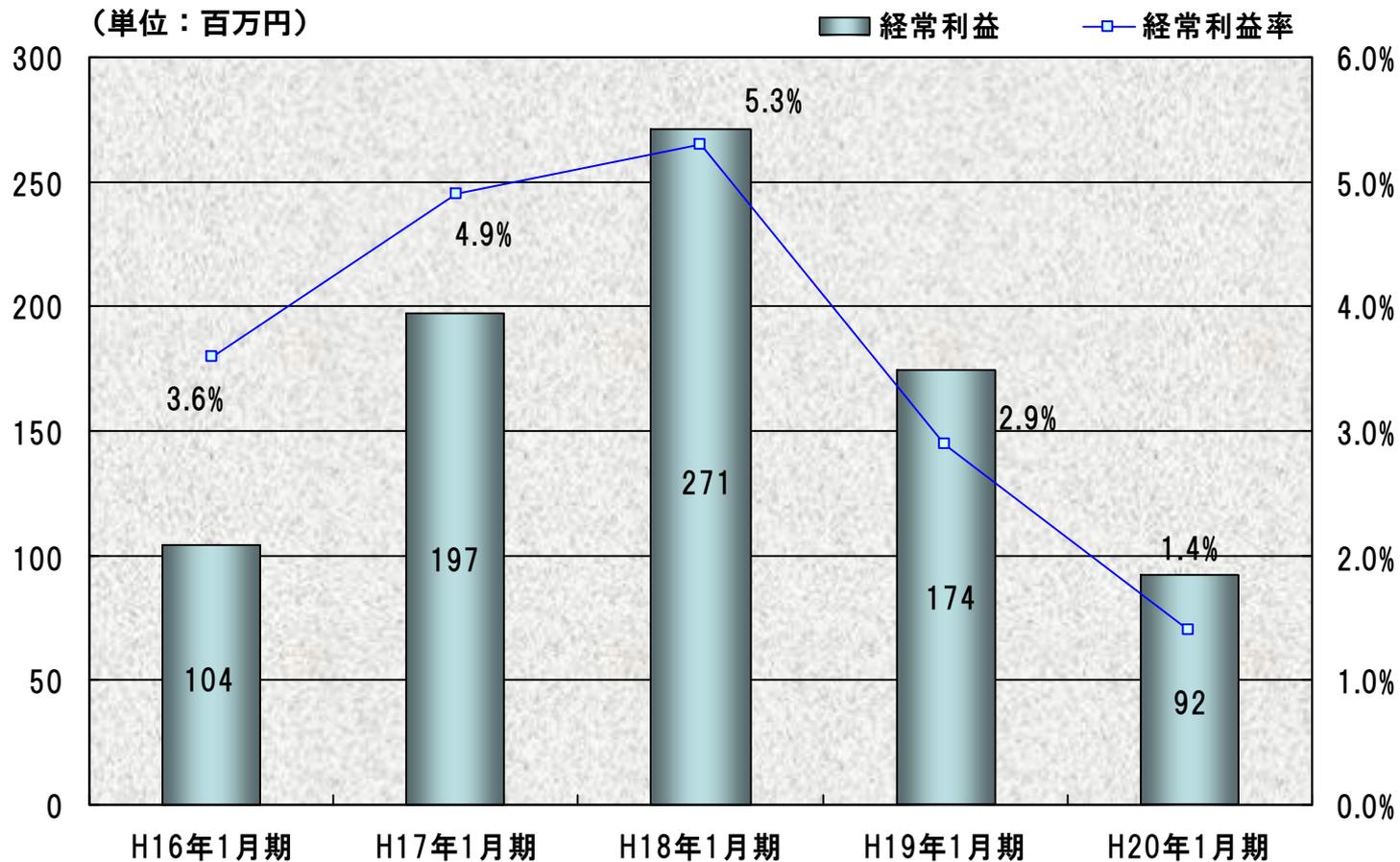
《営業利益・営業利益率の推移》





参考資料

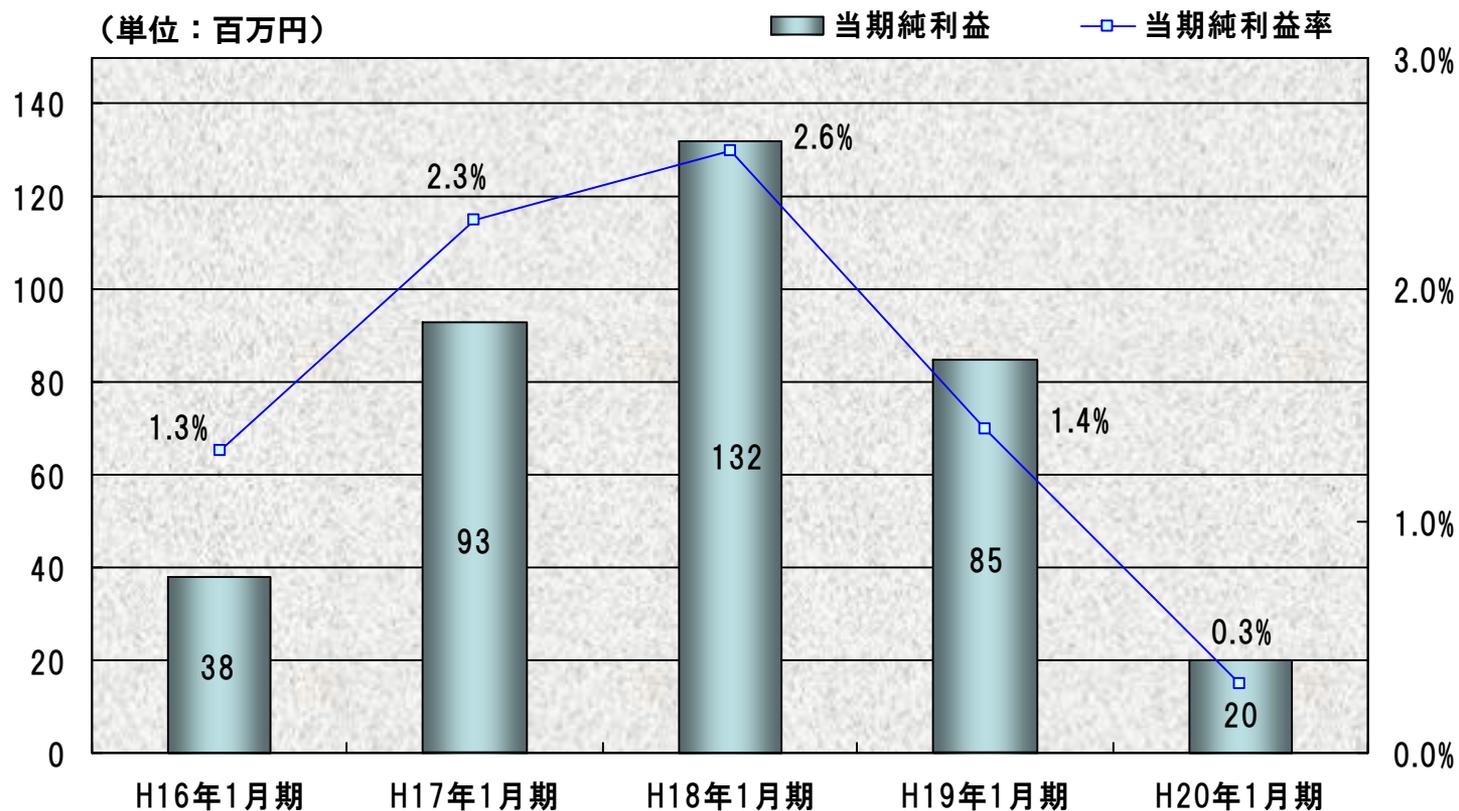
《経常利益・経常利益率の推移》





参考資料

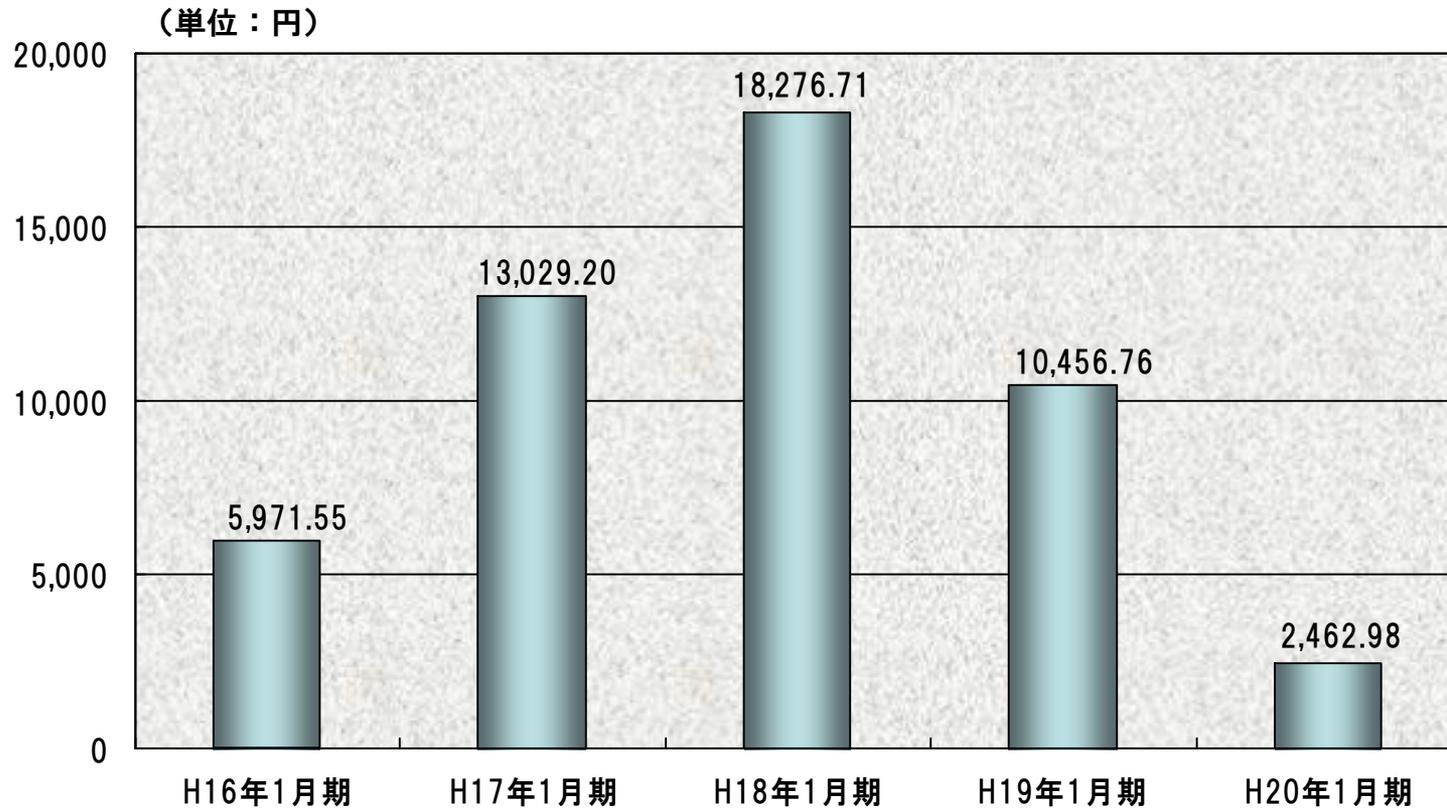
《当期純利益・当期純利益率の推移》





参考資料

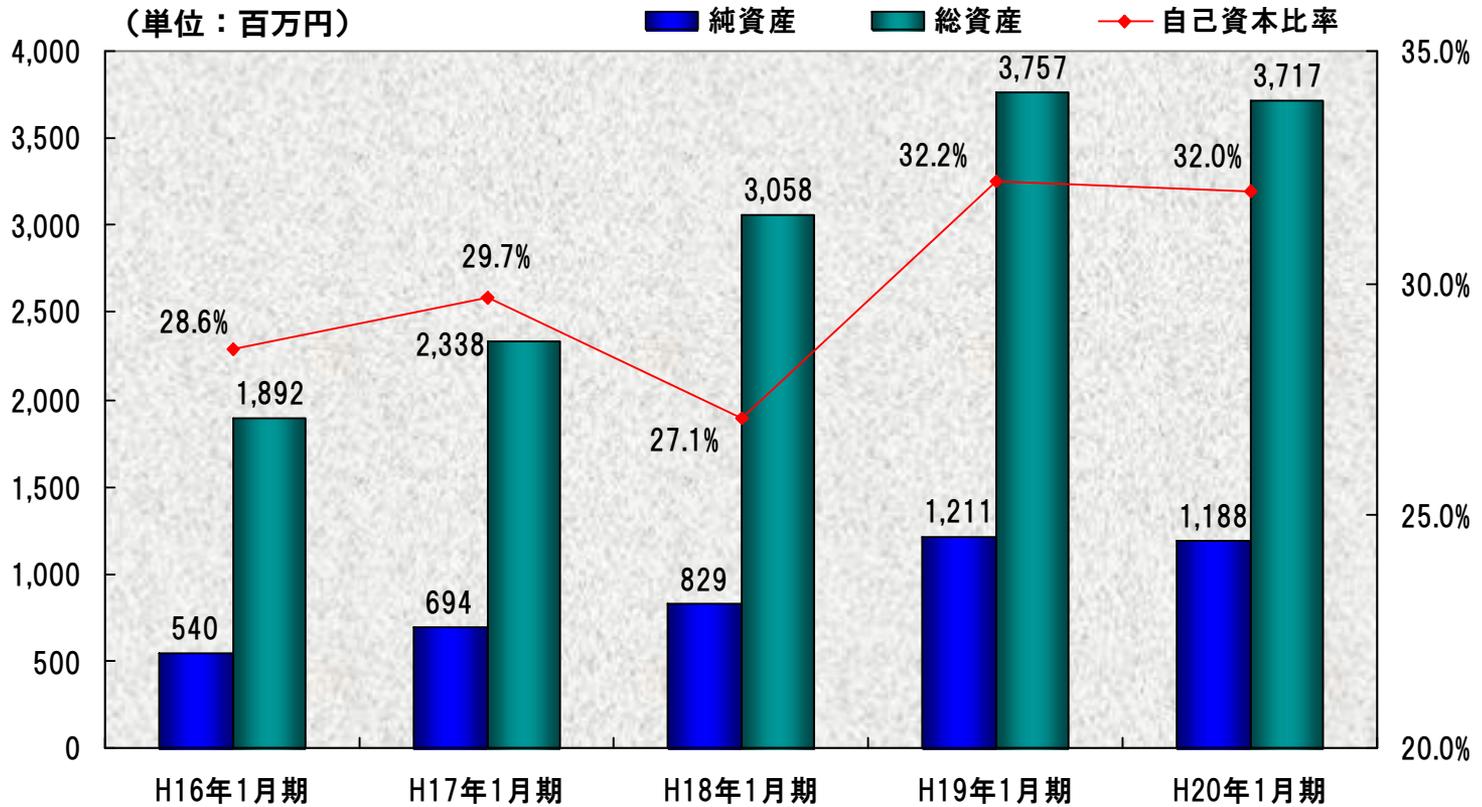
《 1株当たり当期純利益の推移 》





参考資料

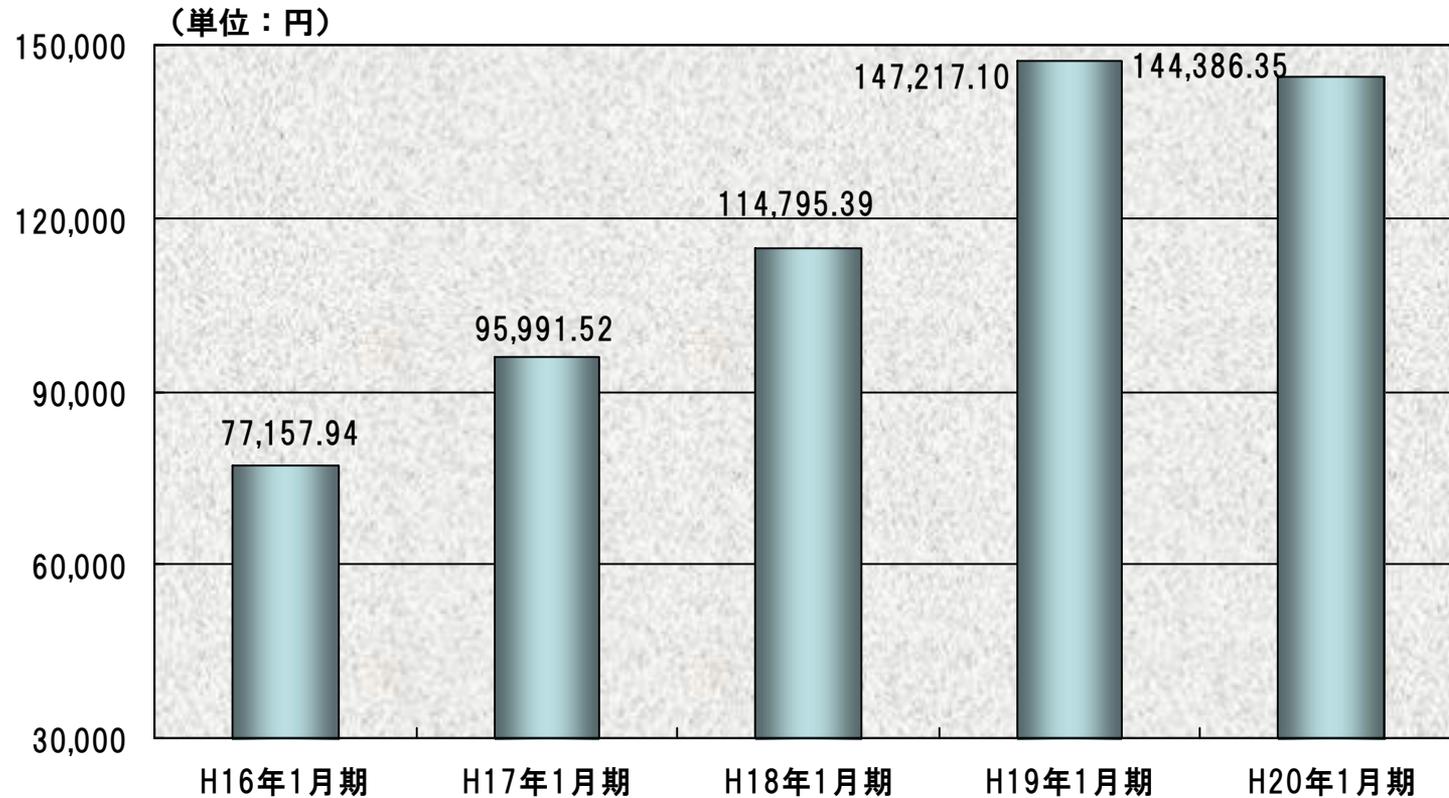
《総資産・純資産・自己資本比率の推移》





参考資料

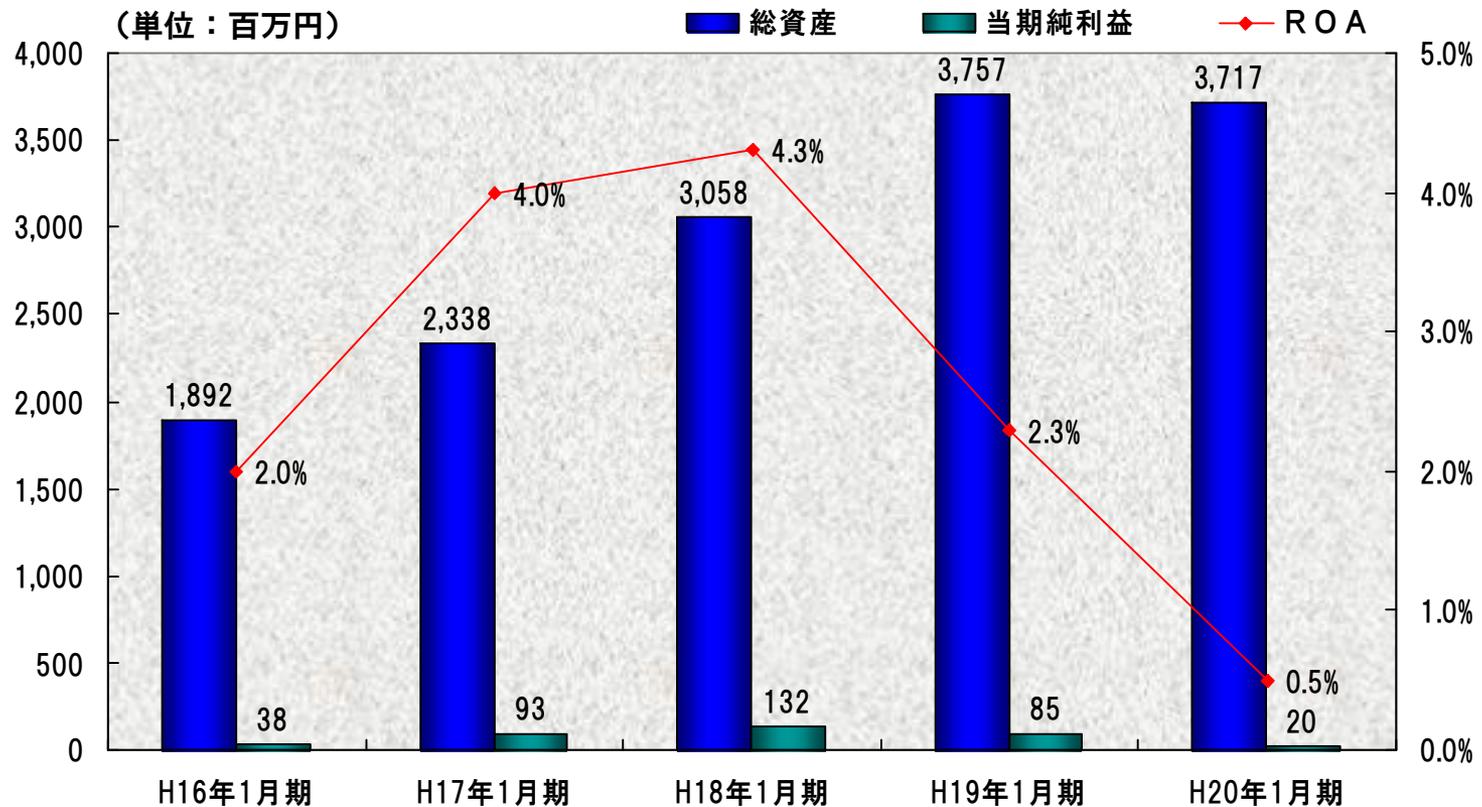
《 1株当たり純資産の推移 》





参考資料

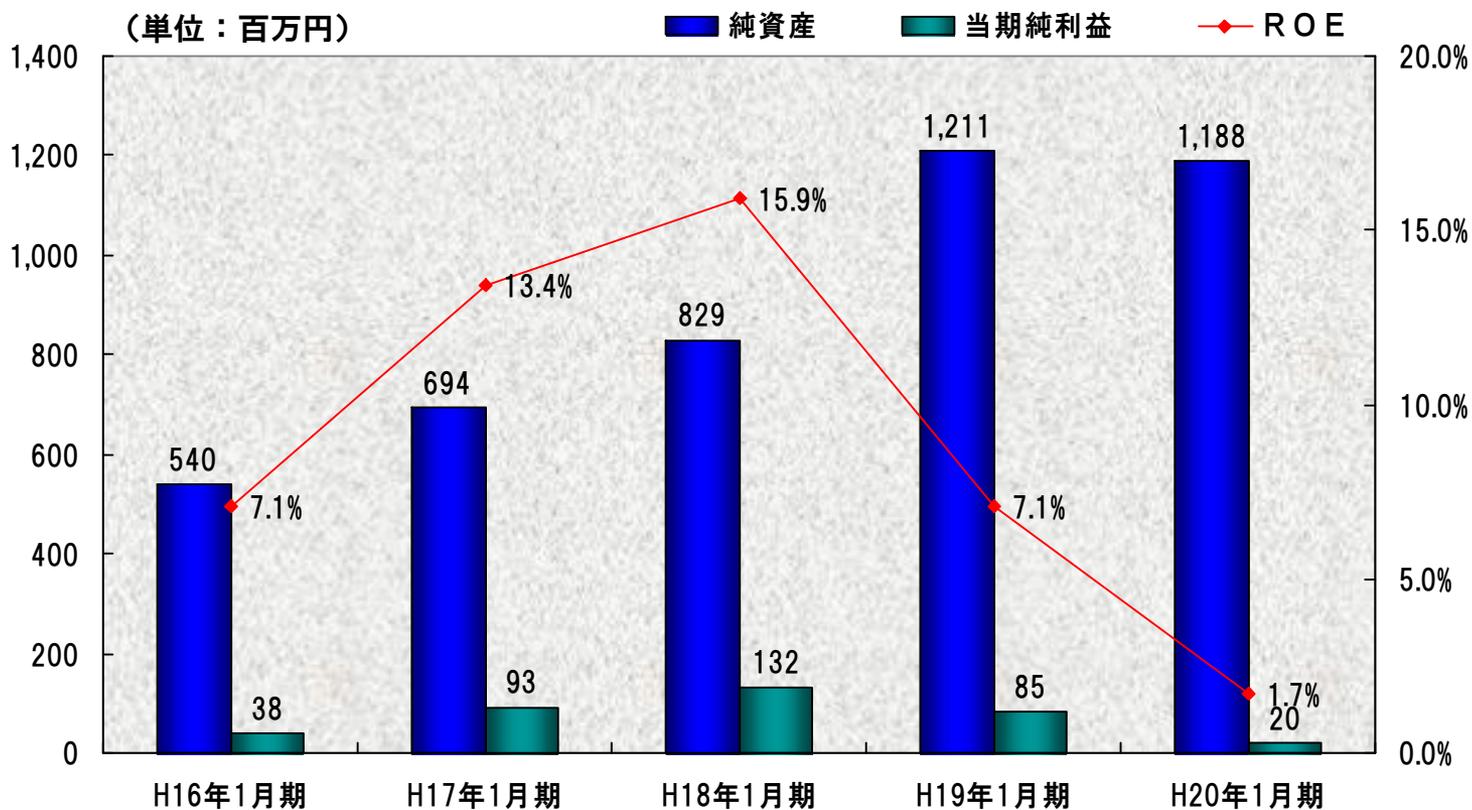
《ROAの推移》





参考資料

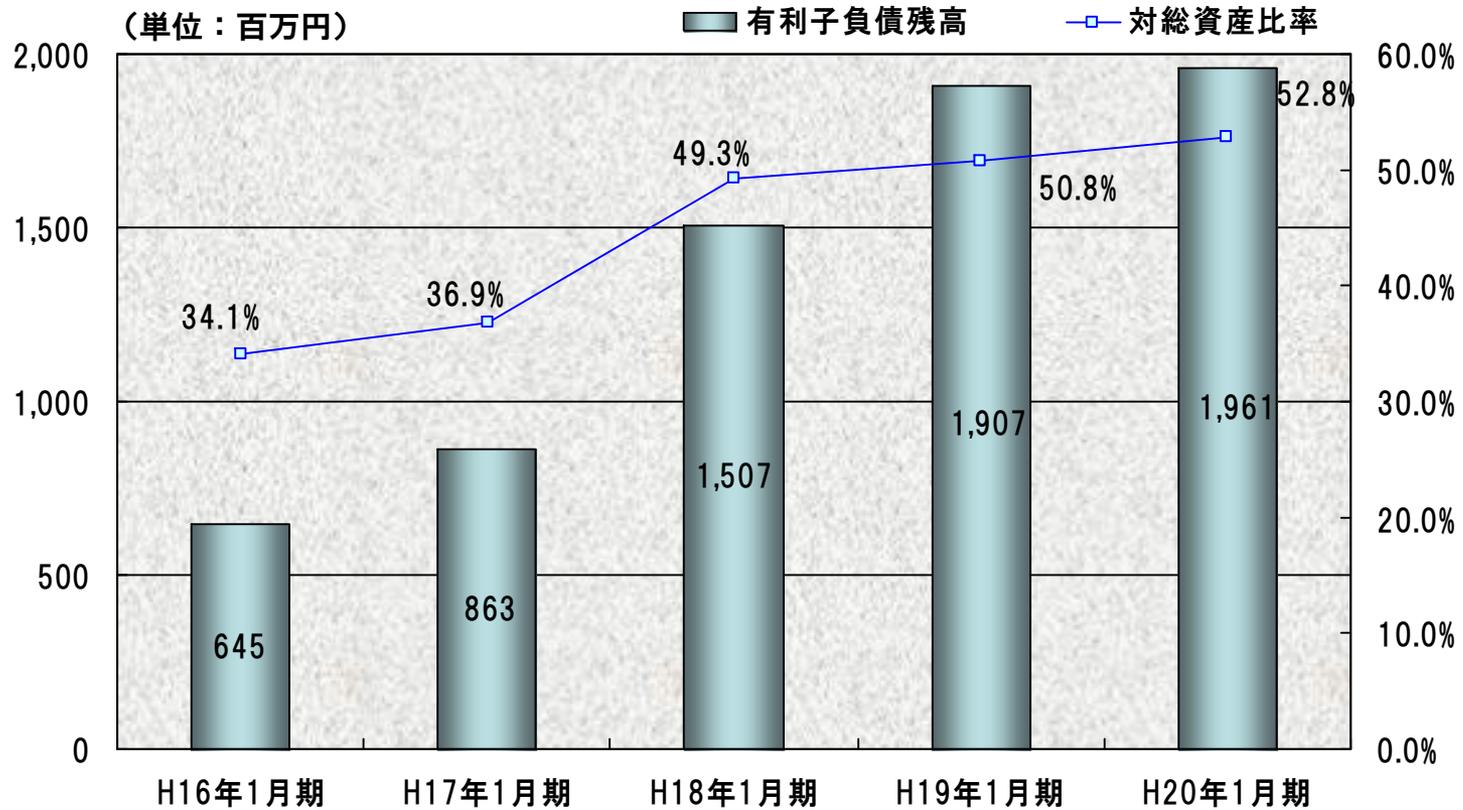
《ROEの推移》





参考資料

《有利子負債残高の推移》





問合せ先

部署

経営企画室

TEL

029-825-1580

FAX

029-825-1582

E-mail

ir@yamaokaya.com

<http://yamaokaya.com>

本説明会にて提供した情報につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性がありますことをご承知おきください。